



2019年春季企画展示

サムライの威容 — 佐藤コレクションを中心に —

長野市立博物館は、武田信玄と上杉謙信が戦った川中島古戦場にあります。

この展示では、川中島の戦いの主人公のひとり、上杉謙信に関わる文化財について、佐藤コレクション（佐久市教育委員会蔵）を中心に紹介します。また、徳川将軍家の重鎮であった飯山藩主・本多家ゆかりの文化財も紹介したいと思います。ここでは、企画展に展示する文化財を写真で紹介します。

4月20日（土）から6月23日（日）まで



こんじしゅひのまるのおごうまじるし
紺地朱日の丸扇馬標（佐久市教育委員会蔵）

馬標は戦陣で大将の側にたててその所在を示すもの。この馬標は永禄4年（1561）の川中島の戦いにおいて、上杉謙信の馬側にたてられたものという。

さまざまな具足



あいかわおとしむねむらさきすそしろはらまき
藍韋威胸紫裾白腹巻
(佐久市教育委員会蔵)

腹巻は、徒歩用の防禦具として発達した胴甲の
ことをいう。室町時代の形式をつたえる。



しろあやつみはらまき おおそでいつそう
白綾包腹巻・大袖一双
(佐久市教育委員会蔵)

室町時代の腹巻。後世の修理がみられる。



くろうるしぬりほんこさねもえぎしろだんおとしおよろい
黒漆塗本小札萌黄白段威大鎧
(佐久市教育委員会蔵)

江戸時代の終わりに流行った復古調の大鎧。



てつぎんぱくおしおけがわこしとりにまいどうわらべぐそく
鉄銀箔押桶側腰取二枚胴童具足
(佐久市教育委員会蔵)

子供用の具足である。



あさぎいとおどしにまいどうぐそく
浅黄糸威二枚胴具足
(佐久市教育委員会蔵)

九鬼家伝来と伝わる。



くろうるしぬりたてはぎおけがわどうぐそく
黒漆塗縦矧桶側胴具足
(佐久市教育委員会蔵)

仙台藩（伊達家）で好まれた具足。

上杉家の名宝



竹に雀紋 長持（佐久市教育委員会蔵）

上杉家の大名道具が納められていたと思われる。



くろくまげさかつらえびら
黒熊毛逆頼箆（佐久市教育委員会蔵）

箆は矢を入れる道具で、腰につける。江戸時代
の復古調の箆。勝虫^{かちむし}（蜻蛉^{とんぼ}）が象牙でできている。



ついしゅかちょうぼりまるぼん
堆朱花鳥彫丸盆（佐久市教育委員会蔵）

上杉謙信の愛用品とされる。16世紀ごろのもの。



したんやびょうぶ
紫檀矢屏風（佐久市教育委員会蔵）

上杉家に伝わったことが台帳などからはっきりする。上杉景勝所用とも伝わる。



かいらぎざめとぎだしちょうせんくら
梅花皮鮫磨出朝鮮鞍（佐久市教育委員会蔵）

梅花皮鮫が貼られた馬具。大振りで朝鮮鞍とされる。



ねりかわくろうるしぬりにちげつもんぐんばいうちわ
練革黒漆塗日月文軍配団扇（佐久市教育委員会蔵）

上杉謙信の手沢品（愛用品）として伝わる。



上杉謙信と
阿弥陀如来像・大日如来像
(佐久市教育委員会蔵)

上杉謙信を中央に二尊を左右に配す。
江戸時代の半ばに活躍した米沢藩のお
抱え絵師・小田切寒松軒の作品。



しろいとおどしべにひのまるもんがらぎぞめぐそく
白糸威紅日の丸紋柄着初具足
(佐久市教育委員会蔵)

上杉景勝が具足始に用いたとされる。具足始は男子が
元服してはじめて甲冑を着用する儀式。

本多家の名宝



くろうるしぬりほんこざねいろおどしわらべぐそく
黒漆塗本小札色々威童具足
(佐久市教育委員会蔵)

本多康重が具足始に用いた。徳川家康から拝領したと伝わる。



ぶんごかみ
本多豊後守康重侯画像
(飯山市 忠恩寺蔵) 飯山市指定文化財

本多家は徳川家譜代の家臣。康重は長篠の戦い、関ヶ原の戦いなどで軍功をあげた。本画像は康重の没後間もない慶長16年(1611)頃の成立。

上杉家の軍旗



「刀八毘沙門」



「紺地日の丸」



「愛」

(いずれも佐久市教育委員会蔵)

博物館だより 第109号

発行日2019年3月29日

長野市立博物館

〒381-2212 長野市小島田町1414

TEL:026(284)9011

<http://www.city.nagano.nagano.jp/museum>

戸隠地質化石博物館

〒381-4104 長野市戸隠栃原3400

TEL:026(252)2228

鬼無里ふるさと資料館

〒381-4301 長野市鬼無里1659

TEL:026(256)3270

信州新町美術館・有島生馬記念館・信州新町化石博物館

〒381-2404 長野市信州新町上条88-3

TEL:026(262)3500

ミュゼ蔵

〒381-2405 長野市信州新町37-1

TEL:026(262)2500